

## 令和元年度 第1回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会議事録

1 開催日時 令和元年8月8日(木)午後1時30分～午後2時30分

2 開催場所 豊山町保健センター 2階 研修室

3 出席者

(1) 委員 9名

杉山医院	杉山	敬
空港歯科医院	久馬	厚
あい薬局	森	康哲
愛知県立大学	岡本	和士
西名古屋医師会在宅医療サポートセンター	中西	健朗
ケアプランセンタービィンズ	池山	豊子
ヘルパーステーションしいの木	桶口	ひとみ
ゆたかナース	宇佐見	千春
豊山町社会福祉協議会	坪井	大志朗

(2) 事務局 3名

豊山町生活福祉部保険課長兼地域包括支援センター所長	横田	仁美
豊山町地域包括支援センター保健師主任	長友	妙子
豊山町地域包括支援センター保健師	大関	沙依

4 議題

(1) 地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について・・・資料1、2、3

(2) その他

5 議事内容(要点筆記)

【司会】

本日は、大変お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。

定刻となりましたので、ただ今より「令和元年度第1回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会」を開催させていただきます。私は、本日の進行を務めます地域包括支援センターの大関です。よろしくお願いいたします。

本日の議事録につきましては、発言時の個人名を伏せ、「要点筆記」にてホームページに掲載させていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日は社会福祉協議会の職員の交代により、新しく坪井様が委員となりましたので、ご紹介いたします。

ここで、本日の資料のご確認をお願いいたします。事前にお配りしました資料は、「資料1 地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」、「資料2 愛知県

電子@連絡帳 広域連携協定の締結に関して」、「資料3 口腔観察シート」です。また、本日お配りした資料は、「令和元年度 第1回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会次第」、「豊山町地域包括ケアシステム推進協議会名簿」です。不足等はありませんか。

それでは、会議次第に沿って始めさせていただきます。はじめに、会長よりご挨拶申し上げます。

**【会長】**

本日は、お盆前のお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。地域包括ケアシステムの構築を推進していくため、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

**【司会】**

ありがとうございました。これ以降の会議の進行につきましては、会長の取り回しでお願いいたします。

**【会長】**

それでは、これより会議を始めます。まず、議事録署名委員の指名ですが、本日の会議の署名委員につきましては、池山委員と坪井委員を指名いたしますので、よろしく願いいたします。

続きまして、次第2の議題（1）「地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」事務局からの説明を求めます。

**【事務局】**

議題（1）「地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について」資料1～3に基づき説明した。

**【会長】**

ただ今の説明につきまして、ご意見やご質問のある方はいらっしゃいませんか。

**【委員】**

ケーブルテレビで放送されている名古屋大学健康長寿シリーズの視聴率は把握できていますか。

**【事務局】**

ケーブルテレビ業者に確認したところ、視聴率の把握はできないということでした。視聴に関するアンケートをとっておりますが、集計までは至っていません。

**【委員】**

今年度事業計画として挙げられている豊山町健康長寿大学は、講義形式で行われますか。それとも、ケーブルテレビなどを用いるのですか。

**【事務局】**

講義形式で行います。テレビの視聴ではなく、実際に講義に参加して活動していただきます。週に1回午前中に行い、1回あたりの時間は約2時間です。期間は半年間を予定しております。

**【委員】**

ケーブルテレビは豊山町の全世帯で観られるのですか。

**【事務局】**

はい。ただし、テレビの問題や、何らかの事情でケーブルをつなげられない場合などは観ることができません。

**【事務局】**

新しくテレビを購入した方などは、配線工事をしていただかないと、ケーブルテレビを接続することができません。そのような理由で視聴できない方がいらっしゃるのではないかと考えられます。

**【会長】**

ケーブルテレビ業者との契約時に発生する料金は、個人負担ですか。

**【事務局】**

契約や視聴に関して、住民の方にお金がかかることはありません。申請していただければ、町で工事費を補助しています。

**【委員】**

住民の方の間では、ケーブルテレビは浸透しているのでしょうか。

**【事務局】**

地上デジタルテレビ放送に切り替わったタイミングで全戸一世にケーブルテレビの接続を普及していただきましたので、浸透していると考えています。しかし、その後に転入なさった方々などは知らない可能性もあり、確実に全世帯が視聴できるとは言えません。

**【委員】**

ケーブルテレビを観る時は、簡単なりモコン操作で済むのですか。

**【事務局】**

はい。通常のチャンネル切り替えと同じ操作で、11番に合わせると観ることができます。

**【委員】**

番組表はありますか。

**【事務局】**

地域包括支援センターで番組表を作成し配布しています。椅子に座ってできる体操や認知症予防の取り組みなどを紹介しておりますので、必要な方には配布していきたいと思っております。

**【委員】**

番組は毎月変わるのですか。放送する曜日や時間などが決まっていれば、こちらも住民の方に伝えやすいと思いました。

**【事務局】**

1日あたり6回、毎日同じ時間に放送しています。全世帯に番組内容が行き渡っていないというのは課題に感じています。口コミを大切にしていきたいと考えていますので、医療・介護職の方にも普及の手助けをしていただければと思います。

**【委員】**

豊山町健康長寿大学を卒業した方々が、子どもたちの指導役を務めるようになるな

ど、次に活かすことは考えていますか。

【事務局】

はい。インストラクターとして栄養や運動について普及できる方を、豊山町健康長寿大学から養成していきたいと考えております。

【委員】

次の世代を育てるため、小中学生にも目を向け、輪を広げて行ってほしいと思います。

【会長】

豊山町健康長寿大学の入学対象者は、どのような方ですか。

【事務局】

60歳から74歳までの住民の方を対象としております。他の介護予防教室では集まりにくい層の方にぜひ参加していただきたいと思っています。初年度は50名募集する予定です。

【委員】

認知症サポーター養成講座は昨年度も実施されているのですか。

【事務局】

昨年度は実施しておりません。出前講座という形をとっておりますので、昨年度は依頼がなく開催に至らなかったという反省点があります。今年度は地域包括支援センター主催での開催を計画しています。また、地域包括支援センターの職員だけではなく、キャラバン・メイトを増やし、その方々にもご協力いただきながら行ってきたいと考えています。

【委員】

キャラバン・メイト養成研修は毎年実施しているのですか。

【事務局】

はい。養成研修は年に1回、県が実施しています。出席者は2名までとされておりますので、毎年その機会を逃さないようにしていきたいと思います。

【委員】

在宅医療・介護連携推進事業の医療と介護関係者の情報共有ツール「電子@連絡帳」に関して、株式会社インターネットイニシアティブよりいただきました情報をお伝えいたします。令和2年4月1日から愛知県全体での連携体制構築を予定しているそうです。また、愛知県内の一部の医療圏では、愛知県全体で連携するよりも早く連携体制を構築する予定であるため、尾張中部地域においても調整可能であるとのことでした。

また、尾張中部地域在宅医・介護連携研修会につきましては、今年度は1月25日（土）に開催できたらと考えております。

【委員】

他の市町と比較して、豊山町では電子@連絡帳の活用があまり進んでいないような印象を受けます。他の市町との連携が実現し、より使いやすくなることを期待したいです。

【事務局】

電子@連絡帳自体の普及が不十分であることや、多職種との連携という面でも課題を感じていますので、それが解決できる環境を整えていきたいと思ひます。

**【委員】**

日本の死因の第3位は肺炎であり、そのほとんどが65歳以上の誤嚥性肺炎です。誤嚥性肺炎の発症には、奥歯や義歯の有無が関わっています。そのような現状を考慮して、今回、口腔観察シートを作成されたのかと思ひます。お餅や団子、寿司などを喉に詰まらせて救急搬送される方は多くいらっしゃいます。そのような詰まらせやすい物を食べないようにすることは大切ですが、在宅では、嚥下方法を教育するということにも取り組むべきではないでしょうか。食事のポジショニングを知るだけでも結果が違ってくると思ひます。

**【委員】**

口腔観察シートは、歯科医師会の方などと約3年間に渡って協議して作成したものです。歯周病や虫歯に焦点を当てるのではなく、食べることや飲み込むことなどの口腔機能をすべて網羅し、誰でも簡単にチェックできることを目的にしています。まずはこの口腔観察シートを用いて、何気ない観察から介護予防を意識していただきたいと思ひます。確かに、嚥下方法やポジショニングの教育も非常に大切なことです。言語聴覚士がマンツーマンに近い形で介入している家庭も最近では増えているような印象があります。今後はさらにそれぞれの専門職種の関わり方や、ケアマネジャーの役割が重要になってくると考えています。ケアマネジャーのアセスメントは、口腔機能の項目が少ないのが現状です。口腔観察シートを、歯科医療につないだ方が良いのかなどを判断するための簡単なツールとして用いていただければと思ひます。

**【委員】**

交通事故よりも窒息死の方が多いのが現状です。口腔機能の大切さを現場でより強く認識していただくきっかけとなれば良いと思ひます。

**【会長】**

口腔観察シートは、例えば家族など、医療・介護の専門職でなくても使うことができるのですか。

**【委員】**

はい。どなたでも使うことができ、それにより早期の気づきにつなげていただきたいと考えています。

**【会長】**

実際に皆様に口腔観察シートを使っただくことで、便利な点や改良が必要な点などが見えてくると思ひます。

**【委員】**

認知症サポーター養成講座のことに話が戻りますが、認知症サポーターの実人数は把握していますか。

**【事務局】**

実人数は把握できていません。今後、認知症サポーター養成講座を開催する際には、可能な限り名簿などを作り、協力体制を築く時に支援者になっていただきたいと考え

ています。

**【委員】**

認知症初期集中支援チームについてお尋ねしたいことがあります。平成30年度実績の対象者4名は、どのような経緯でチームによる介入が実現したのでしょうか。

**【事務局】**

例えば、ご近所の方から対象者の様子が以前と違うなどのご相談をいただいて訪問したところ、認知症の疑いがみられてチームにつないだケースがありました。まずは自宅にチーム員を派遣し、必要であれば受診できるように支援していきます。認知症は病識を持ちにくい疾患ですので、周りの方から気づかれて相談に至るケースが多い状況です。ケアマネジャーの方なども、気になるケースがありましたらご相談ください。

**【会長】**

生活支援体制整備事業に関してですが、孤独死防止のために新聞配達の方などと連携をしていく必要性を感じています。

**【事務局】**

豊山町においても、新聞販売店や電気・ガス・水道会社などと豊山町高齢者等見守り活動協定を締結しております。しかし、それらを利用されていない方もいらっしゃいますので、近隣の方などとも一緒に対象者を支援していけるような地域づくりを目指したいと考えております。

**【会長】**

今後も様々な方と共に知恵を出し合いながら体制づくりができると良いでしょう。

それでは、この議題につきましては以上で終了いたします。

続きまして、(2)「その他」に移ります。事務局からの説明を求めます。

**【事務局】**

令和元年度の協議会予定についてご連絡いたします。第2回を令和2年2月頃に開催予定としております。開催にあたりましては、事前にご連絡をいたしますのでよろしく願いいたします。

**【会長】**

本日本日予定しておりました議題につきましては、すべて終了しました。委員の方々に、何かご意見がありましたらお聞きしますが、いかがでしょうか。

ないようですので、これをもちまして令和元年度第1回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

**【司会】**

岡本会長ありがとうございました。委員の皆様におかれましては、長時間の審議をありがとうございました。

上記のとおり、令和元年8月8日（木）開催の豊山町地域包括ケアシステム推進協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席委員2人が署名する。

令和元年8月19日

会 長 岡本 和士

署名委員 池山 豊子

署名委員 坪井 大志朗